

2024年度 日本行政学会春季理事会議事要録

日時：2024年5月17日（金）17時00分～19時00分

場所：学習院大学東2号館13階会議室

出席者：原田 久（理事長）、市川喜崇、伊藤正次、稲生信男、入江容子、牛山久仁彦、太田響子、金井利之、北村 亘、京 俊介、工藤裕子、嶋田暁文、宗前清貞、曾我謙悟、辻 陽、辻 琢也、徳久恭子、深谷 健、藤田由紀子、牧原 出、益田直子、松井 望、森 道哉、山崎幹根（以上理事）、坂根 徹（以上監事）、河合晃一、森川 想、山田 健（以上幹事）

1. 事務局一般活動報告

1. 1 現会員数について

益田直子事務局理事から、2024年5月1日現在の個人会員数が614名、団体会員数が15団体であることが報告された。

1. 2 学会会費納入状況について

益田直子事務局理事から、5月17日現在、個人会員数614名から顧問15名を差し引いた会費会員数599名のうち397名が2024年度会費を納入済み（納入率66.3%）であることが報告された。

1. 3 学会費未納者への対応について

益田直子事務局理事から、4年未納（2020～2023年度会費）の16名及び3年未納（2021～2023年度会費）の10名を2023年度末に会員名簿から削除したことが報告された。また、その他に、2023年12月2日（秋季理事会翌日）から2024年5月1日までの間に、申出等による退会が9名あったことが報告された。

1. 4 メールニュースについて

益田直子事務局理事から、2023年度は18回の送信（1号～18号）を行ったことが報告された。

1. 5 行政管理研究センターが保管する事務局資料及び年報バックナンバーの整理状況について

益田直子事務局理事から、行政管理研究センターが保管する段ボール10箱程度の事務局資料等の整理状況について、次のとおり報告された。2024年4月26日に、稲垣浩会員（國學院大学）・若林悠会員（大東文化大学）・山田健事務局幹事が同センターを訪問し、資

料状態を全体的に確認した上で、整理の方針を同センターの山田徹氏とともに検討した。今後、上記 3 名が今年度内に 3 回ほど同センターを訪問し、整理作業を実施する予定である。なお、資料の廃棄等にあたって追加的費用を要する可能性がある。

1. 6 理事会議事要録の公開について

原田久理事長から、理事会議事要録について、質疑応答部分を削除した上で公開することを検討していること、公開対象は 2024 年度春季理事会以降とする予定であることが報告された。

1. 7 事務局の移動について

益田直子事務局理事から、本年度 6 月末日にて事務局が拓殖大学から移動予定であることが報告された。

2. 各委員会事業報告

2. 1 企画委員会報告

伊藤正次企画委員長から、2024 年度研究会について、次のとおり報告された。昨年 12 月の秋季理事会後、国際交流委員会に国際交流分科会の企画を検討してもらい、プログラムへの追加を行った。研究奨励賞（論文部門）については、当初 7 点の報告論文を審査対象としたが、提出期限を過ぎて提出された報告論文が 1 点あったため、6 点が審査の対象になっている。また、研究奨励賞（ポスター部門）の審査対象は 7 点である。

また、今後は、共同研究・共同報告等が増加することも想定されることから、各賞の審査対象資格をあらためて検討する必要があるとの説明がなされた。

2. 2 年報委員会報告

辻陽年報委員長から、『年報行政研究』59 号の発行に伴い、次のとおり報告された。特集については、伊藤正次企画委員長がねらいを執筆し、特集論文は 3 本を掲載した。公募論文については、応募された 5 本のうち再査読となった 3 本すべてが掲載可の判定となった。書評は 12 本を掲載した。また、大森彌顧問の逝去に伴い、辻琢也理事による追悼記事を掲載した。

2. 3 国際交流委員会報告

深谷健国際交流委員長から、2024 年度研究会について、次のとおり報告された。5 月 18 日（土）午後（13 時 30 分～15 時 15 分）の枠で、KAPA (Korean Association for Public Administration) と共同での国際交流分科会を対面実施する。KAPA からは、Young B. Lee 理事長（建国大学校、Konkuk University）と報告登壇者 2 名を含む 6 名が訪日予定である。また、KAPA との MOU に基づき、2024 年度 KAPA 夏大会（6 月 19 日-21 日）に

JSPA から長野基会員（東京都立大学）・白取耕一郎会員（大谷大学）を派遣することが報告された。

加えて、2023年12月16日（土）・17日（日）に明治大学で開催されたAAPA（Asian Association for Public Administration）東京大会、及び2024年2月26日（月）-29日（木）に、ケニア（モンバサ）で開催されたIIAS-KSG Conferenceの年次総会（IIAS General Assembly）とプログラム研究諮問委員会（PARC Meeting）に深谷国際交流委員長が出席したことが報告された。また、今後のIIAS対応に関し、各地で開催される会議へのJSPAからの役職者参加の財政支援についても検討課題となるとの説明がなされた。

さらに、縣公一郎顧問から国際交流委員会に、EROPA（Eastern Regional Organization for Public Administration）加盟国等の研究者による地方行政に関する英語の比較論文集「コンパラティブスタディ」（正式名称「Comparative Studies of Public Administration」（行政に関する「比較研究」）、EROPA地方自治センターの活動の一つ）の刊行に向けた論文投稿の案内、及びEROPAのジャーナルThe Asian Review of Public Administration（ARPA）への投稿についての案内があったことから、学会MLを通じていずれも会員に周知したことが報告された。

2. 4 組織財政委員会報告

議題7で、市川喜崇組織財政委員長から、合わせて報告が行われた。

3. 2023年度決算

益田直子事務局理事から、次のとおり決算案の説明が行われた。本年度収支は、収入(前年度繰越金を除く)433万1,971円に対し、支出359万7,796円となり、収入+73万4,175円であった。収入の部は、特に立命館大学からの助成金20万円で収入増となった。支出の部は、前年度の463万1,287円と比べ▲103万3,491円であった。減額幅の大きな費目は、事務委託費▲107万3,571円であった。

4. 監査報告

坂根徹監事から、2024年4月20日に拓殖大学で監査を行い、適正に処理されていることが報告された。審議の結果、2023年度決算が原案通り承認され、翌日の総会に諮ることになった。

5. 2024年度予算の審議

益田直子事務局理事から、次のとおり予算案の説明が行われた。個人会員の会費収入は、個人会員数に会費を乗じた額の9割を計上、団体会員の会費収入は、団体数に会費を乗じた額を計上した。また支出として、学会開催費は、対面開催を想定し、コロナ禍前2019年度予算と同額とした。理事会費は、昨年度と同額とした。学会分担金は、昨年度実績を踏ま

え 8 万円を計上した。国際交流費は、昨年度実績を踏まえ 16 万円を計上した。年報買上費は、発送件数の増加(2024 年度より一括郵送)、及び配送費高騰により、260 万 2,360 円を計上した。研究助成費は、過年度の実績を踏まえ、また、昨年度はコロナ禍後の回復期であったことを考慮し、昨年度と同額とした。事務局費は、過年度の実績を踏まえ、70 万円を計上した。事務委託費は、(一財)行政管理研究センターとの契約額(16 万 4,560 円)、会費請求郵送代立替費、年報バックナンバー廃棄作業、及び学会員による過年度事務局の各種書類の精査作業(2023 年度秋季理事会了承)を踏まえ、53 万円を計上した。

審議の結果、予算案が原案通り承認され、翌日の総会に諮ることになった。

6. 年報関連委託業務の見直しに伴う規約改正

益田直子事務局理事から、本年度以降 (株)ぎょうせいに年報の一斉送付を依頼するという方針変更に伴い、日本行政学会規約第 7 条第 2 項を以下の通り改正することが提案された。審議の結果、改正案が原案通り承認され、翌日の総会に諮ることになった。

【現 行】「2) 会費を滞納する場合は、理事会において退会させることができる。」

【改正案】「2) 会費を 3 年以上滞納した者は、退会したものとみなす。但し、本項により退会したとみなされた者は、滞納会費の納入後、理事会の議を経て、会員の資格を回復することを得る。」

7. 理事・監事選考委員会について

市川喜崇組織財政委員長から、地域や男女の比率など諸般の事情を考慮し、次期理事・監事候補者を選考したことが報告され、次期理事・監事候補者案が提案された。審議の結果、次期理事・監事候補者案が原案通り承認され、翌日の総会に諮ることになった。

8. 次期年次大会開催校について

山崎幹根 2025 年度開催校担当理事から、次年度の総会・研究会の開催日程は 2025 年 5 月 24 日(土)・25 日(日)、理事会・総会・研究会の会場は札幌市教育文化会館を予定しており、学会懇親会については 1 日目終了後に札幌市教育文化会館近隣での実施を検討していることが報告された。

9. 入会希望者の審査

益田直子事務局理事から、11 名の入会申請があったことが報告され、11 名の入会が承認された。

以上